

令和 8 年度診療科別目標発表



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

緩和ケア科

医師の紹介

緩和ケア科



No.	氏名	役職等
1	吉野 吾朗	嘱託
2	津久井 賢	緩和ケアセンター所長、緩和ケア科科部長
3	星川 真由美	医長（兼 診療部外科医長）

診療実績等



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

緩和ケア科

診療の柱

- ・緩和ケア外来
- ・緩和ケアチーム
- ・緩和ケア病棟

主な診療実績	R5年	R6年	R7年
緩和ケアチーム依頼件数	114人／年	187人／年	217人／年

* 令和8年度 診療報酬改定（令和8年6月1日から施行）

一般病棟入院中患者への緩和ケアチーム介入対象疾患
悪性腫瘍、AIDS、末期心不全 + 末期呼吸不全、および末期腎不全 が追加

令和8年度の依頼件数：（8/31現在）112件 （年間268件相当）

第3次中期経営計画の方向性と重点施策

(令和3年度～令和9年度)

方向性1 高度ながん医療の提供

- ① 低侵襲手術の充実
- ② 外来化学療法センターの拡充
- ③ がんゲノム医療連携病院の指定
- ④ がん検診の充実
- ⑤ 高度ながん医療提供体制の整備

方向性2 救命救急センターの機能強化・充実

- ① 救命救急診療体制の充実
- ② 救急領域を担う人材確保・育成

方向性3 大規模災害や感染症のまん延に備えた機能強化・充実

- ① 災害拠点病院としての施設整備、体制の強化
- ② 感染症のまん延に備えた機能強化・充実

方向性4 住み慣れた地域で安心して暮らせる医療提供体制の構築

- ① 回復期・在宅医療へスムーズに移行できる新たな体制の構築
- ② 緩和ケア病棟の整備
- ③ 在宅医療の推進
- ④ 地域医療連携の推進
- ⑤ 検査部門の国際標準化

方向性5 持続可能な経営基盤の強化

- ① より質の高い医療の提供
- ② 職員の経営意識の醸成
- ③ 医療施設・機器の計画的な整備・更新、デジタル化への対応
- ④ 積極的な情報の発信
- ⑤ 効率的・効果的な病棟の再編

方向性6 魅力的な職場環境の整備

- ① 医療従事者、臨床研修医等の若手医師の確保
- ② 働き方改革に対応した勤務環境の整備
- ③ 働きやすい職場環境の整備
- ④ 人材育成システムの構築



緩和ケア科

当院緩和ケア病棟の特徴

- ・ 県中部唯一の緩和ケア病棟
 - ・ 患者さんや家族の抱える様々な苦痛を和らげ、その人らしい生き方を支える全人的ケアの場
 - ・ 静かで穏やかな時間が流れる空間を提供
- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 本館 8 階（南向き）・ 全室個室（有料 6、無料 6）・ 病室入り口のネーム表示なし・ 全室エアコン完備・ 談話室、キッチンスペース・ 季節のイベント | <ul style="list-style-type: none">・ 主治医は継続・ 面会も付添いも制限なし・ ペットも面会可能・ 飲酒も可能・ 心電図モニターなし・ 臨終後に湯灌を提供(希望時)・ アニマルセラピー |
|---|---|
- ・ 多職種チームによる手厚い支援



緩和ケア科

令和7年度利用患者数・内訳など

利用患者数	149人	転帰	
内訳			
消化器内科	71人	死亡退院	123人
呼吸器内科	27人	療養施設入所	11人
外科	17人	自宅退院	4人
泌尿器科	10人	転院	10人
乳腺外科	8人	その他	8人
産婦人科	5人		
呼吸器外科	3人		
耳鼻咽喉科	3人		
脳神経外科	3人	平均在院日数	15.7日
救急科	1人		
整形外科	1人		

* 緩和ケア病棟対象疾患（令和8年6月1日から施行）
悪性腫瘍、AIDS + 末期腎不全 が追加

令和8年度利用患者数（8月末現在）90人（年間216人相当）

令和8～9年度の短期目標

緩和ケア科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

No.	目標	方法
1	緩和ケア病棟の健全な運営	病床利用率の向上、他院からの受け入れ
		適切な退院調整
2	ケアの質の向上	院内・院外研修会の充実
3	教育、人材の育成	緩和ケア研修会・ELNECなどの開催
4	在宅医療の推進	訪問診療機関との連携 シームレスな緩和ケアの提供
5	学会活動	積極的な学会発表・参加
6	後継者の確保	指導・育成

中期目標・令和9年度を目指す姿

緩和ケア科



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

令和9年度



緩和ケア病棟の整備

- ・ この地域での緩和ケア病棟の役割の獲得
（他の有料老人ホーム、在宅ホスピスなどとの棲み分け）
- ・ 機動性、専門性、柔軟性、快適性
- ・ 地域の拠点となる教育

決 意

質の高い医療・ケアが、すべての
患者、家族に提供できるよう、
不断の努力を続けます